

フロンティア Frontier-21

福井法人会青年部会会報 フロンティア21

■第二十九回 法人会全国青年の集い「茨城大会」

■税務署長との懇談会

■真価塾 Part25

■真価塾 Part26

■福井県法人会青年部会連絡協議会研修会

■サマーフェスタ2015

■青年部会親睦ゴルフコンペ



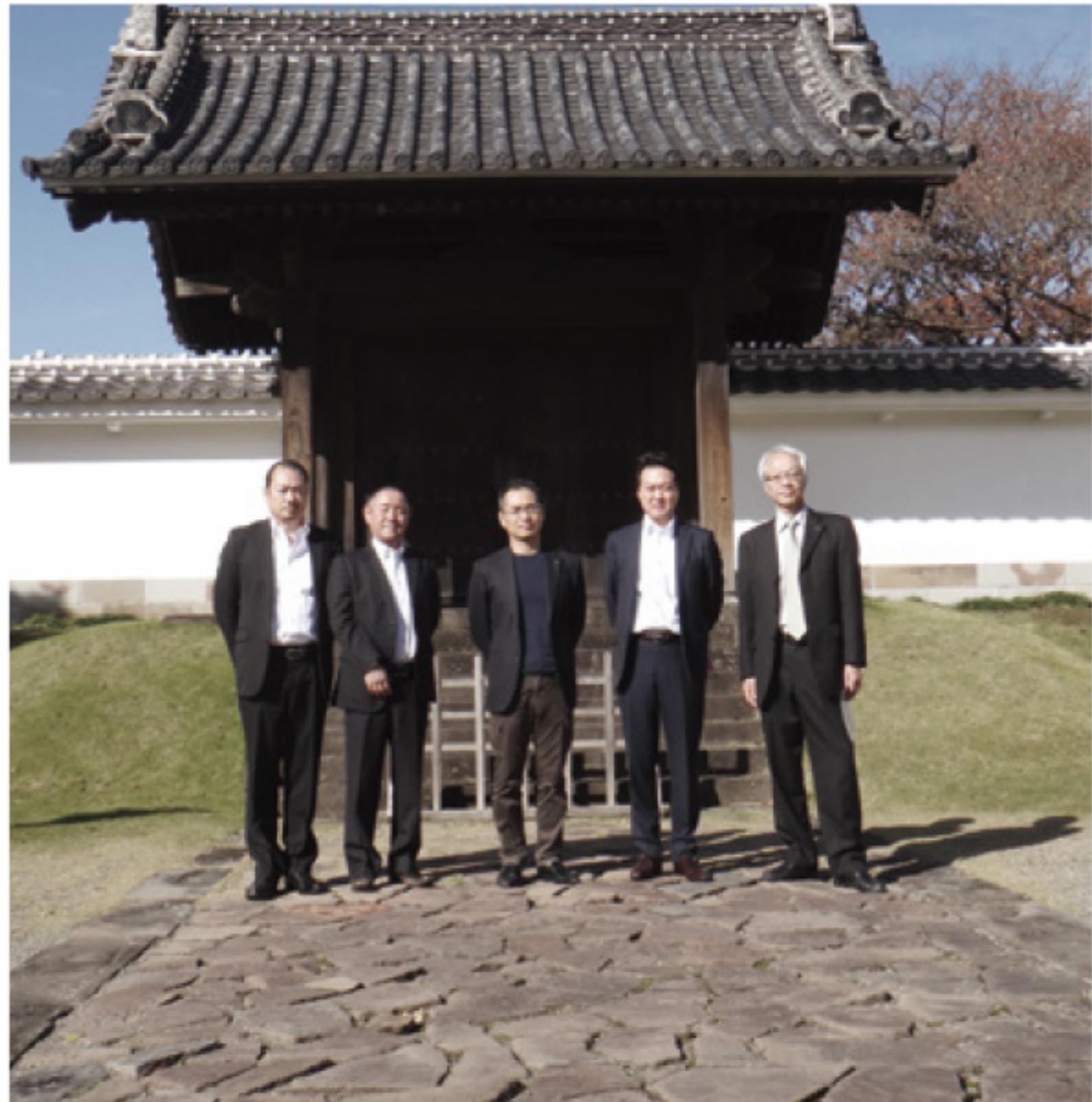
第二十九回 法人会全国青年の集い「茨城大会」



平成二十七年十一月二十日（金）、二十一日（土）の一泊二日の日程で第二十九回法人会全国青年の集い『茨城大会』に参加いたしました。

初日、福井は曇り空でした
が、水戸に近づくに連れて
雨・・・傘を持って来なかつた
方も多く、駆け足でシャトルバ
スに飛び込みました。会場到着

販売のため、人が多くて大変で
した。
大会式典に先立ち、宇宙航空
研究開発機構（JAXA）名誉
教授の的川安宣（まとがわやす
のり）氏により記念講演が行わ
れました。『この国とこの星と
私たち～「はやぶさ」からのメ
ッセージ～』と題したお話の中
で、ご自身が当時の「はやぶさ
プロジェクト」で中心的メンバ



二日目は、偕楽園・弘道館・
ホワイエでした。モニターも無
かった為、会場で何が行われて
いるのかが、確認出来なかつた
事は残念に思いましたが、各県
から参加しています会員らが、
それぞれ懇親を深めておりまし
た。

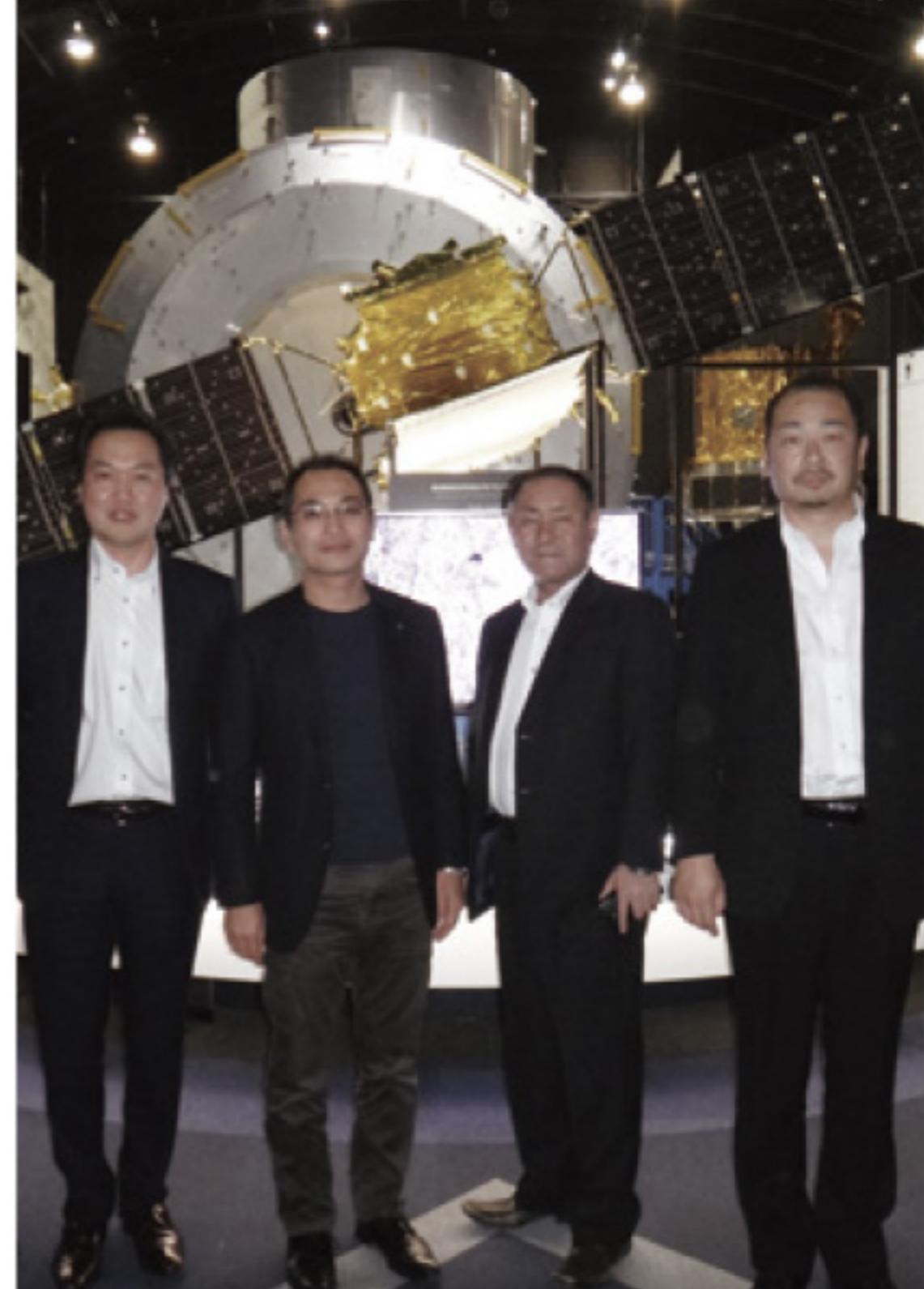


いと拍手が響き渡つていまし
た。
大会式典後の懇親会会場は少
し離れた場所にあり、シャトル
バスにて移動。残念ながら、会
場は三ヵ所に分かれています、
我々の場所はメイン会場の外、
シャトーカミヤ・JAXA筑波

宇宙センターを回り、帰路につ
きました。来年は九月に旭川に
て開催です。（能登部、川口）

一の立場だった視点から、チー
ムワークはミッション達成のた
めに不可欠であるという理念話
を、リーダーとしての体験談や
エピソード話を交えながら、宇
宙の科学について語つておられ
ました。当団は、全国からの会
員だけではなく、地元の小学生
たちも公聴に訪れ、会場は立ち
見が出るほど人が多く、熱氣で

溢れかえっていました。
その後の式典では、会員増強
表彰と租税教育活動プレゼンテ
ーションの結果発表が行われ、
今年は、「アクティブラーニン
グ」を活用した、広島南法人会
青年部会が、租税教育活動の最
優秀賞を見事に獲得され、事例
発表の際には、ユーモア性に富
んだプレゼンに、会場からは笑



税務署長との懇談会



平成二十七年十一月二十四
(火) 十時三十分より福井税務
署の署長室にて、税務署長との
懇談会が開催されました。

福井税務署からは、福井税務
署長の裏谷重寿様、筆頭副署長
の春木與志和様、法人課税第一
部門統括国税調査官の長多央
様、法人課税部門連絡調査官の
中川三智江様にご出席いただき
ました。

まず、清川会長から挨拶を行
い、会員それぞれの自己紹介を
いたしました。

裏谷署長、春木筆頭副署長から
もご挨拶をいただき、租税教育
への取り組みなどをお話しいた
だき、重要性などを実感しまし
た。

引き続き、清川会長から署
長、筆頭副署長への質問とな
り、マイナンバー、法人番号に
ついての話題では、法人番号
は、国税庁が公表するものとい
うことがわかりました。

税務調査先の選定の話題で
は、好況業種のなかから選定さ
れることがあるということや、
赤字事業者でも源泉徴収税や消
費税などもあるので調査するこ
ともあるとのことでした。

税務調査で見解の相違が発生
するものとして、どのようなも
のがあるかという話題では、海
外取引や賃金か外注かの判定な
どのケースがあるということであ
った。

税金の使われ方の話題では、
使われ方の検証や租税について
の啓蒙、教育などの重要性が必
要であるとの意見があり、税務
署としては、小中高生のほかに
社会人に対しても教育を行って
いるとのことでした。

そのほか、ふるさと納税、黒
字法人の割合、軽減税率の動
向、減価償却などの話題であつ
た。

(春田)

真価塾 part25



平成二十七年九月八日（火）福井市宝永のふく岡にて午後六時半より真価塾 Part 25 「マイナンバー制度 準備できていますか？」が開催されました。

初めに清川会長の挨拶にてマイナンバー制度の理解・勉強の重要性を話されました。マイナンバー制度自体が各会員未経験ということもあり、出席者数も約三十名弱となりました。講師には、南和彦税理士事務所の南誠太郎氏をお招きし、レジュメを見ながら解りやすい説明をし

終了後は、食事をしながらの懇親会となり、和やかな雰囲気のなかで、講師とお話を続きを語らいました。
（大澤）

講演終了後の質疑応答も申告、納税、社員の書式管理、金融機関対応と具体的な質問が多くありました。とてもためになる真価塾となりました。

真価塾 part26



平成二十七年十一月二十七日（金）大同生命福井支社二階会議室にて、講師に県書作家協会会員の田邊真寿実氏お招きし

て、真価塾 Part 26 「ビジネスに役立つ書道（筆ペンでかっこよく署名するためには）」が開催されました。

一画ずつ書く位置を教えていたただいたことで、意外なところが字体のポイントになっているということもわかりました。

参加者は、田邊氏の説明やお手本を参考に各自、熱心に練習していました。

引き続き、浜町ピノリに移動して、懇親会を行いました。講師の田邊氏にもご参加いただきました。楽しいひとときとなりました。

今回は、筆ペンを使った実技指導をしていただきました。基本の線の書き方などを教えていただき、続いてよく書かれる文字などを丁寧にご指導下さいました。
（春田）

福井県法人会青年部会連絡協議会 研修会



講演会テーマは「丹南の伝統的ものづくり」ということで、南越法人会青年部会の上田部会長の司会のもと、丹南を代表する伝統産業の担い手三名の方から各業界毎の現状と課題、発展のヒントについて大いに語って頂きました。

株式会社西村金属の西村社長からはメガネ産業の衰退の中、メガネで培ったチタン加工技術を他分野で生かし、この十年強で売上全てメガネ向けだったものが、今では売上の八割が他分野に至つた経緯を、株式会社漆琳堂の内田専務からはピーク時売上の三分の一に縮小した河和田地区漆産業の中、自ら自社ブランドを立ち上げることで新たな販路を切り開き、受注に繋げているお話を、福井県和紙工業協同組合の石川理事長からは、武生税務署の鷲本署長より来賓を代表してご挨拶を頂きました。

平成二十七年十月一日（木）、武生商工会館で福井県法人会青年部会連絡協議会の今年度研修会が、南越法人会青年部会主管にて開催されました。



た越前和紙そのもののPRを再開し、海外を含めた国内外に大きく発信し続けることではあります。認知度を高めることに奔走されているお話を聞きました。三名ともに共通していた内容は、古くからある固有の技術・商品であっても、それを最終消費者に強く訴求していくかないと埋もれていいくだけであり、自社ブランドを立ち上げたり、地域や他業種など周りを巻き込みながら、最終消費者にしつかり提案していくことがこれから伝統産業には非常に大事であるとの強いメッセージを頂きました。

百名近くいた参加者も、自身の会社や業界に置き換えるながら、非常に大事であると感じます。（大脇）

毎年恒例！

サマーフェスタ2015



平成二十七年七月二十七日
(月) 午後七時より、わらび福井駅前店にて、毎年恒例の青年部会サマーフェスタ2015が開催されました。

今年も多くのメンバーが参加し、最初から最後まで活気に満ちて、大いに盛り上がりました。会員同士が懇親を深め、英気を養う楽しい日となりました。

(山田)



平成二十七年十月十日
(土)、ゴーレッド福井カントリークラブにて、四組十六名が参加して、青年部会親睦ゴルフコンペが行われました。天氣にも恵まれ最高のコンディションの中、熱戦が繰り広げられました。

ダブルペリアのハンディキャップ上限無しという条件で、誰にでも優勝のチャンスがあるスリリングな展開の中、グロス79、ハンディイキャップ7・2、ネット71・8という好スコアで、見事、本年度ご卒業予定の三田村信夫氏が優勝され、有終の美を飾られました。参加者の皆様、本当にお疲れ様でした。

(下野)

- 優勝／三田村信夫
(グロス79 ネット71・8)
- 準優勝／井上浩一郎
(グロス93 ネット72・6)
- 三位／清川忠幸
(グロス116 ネット72・8)

毎年恒例！

青年部会親睦ゴルフコンペ



表紙写真ロケ地／福井駅西口周辺



めざします 企業の繁栄と社会への貢献